

ネイティブアスペルギルス・オリゼーリボヌクレアーゼ**T1**

Cat. No. NATE-0658

Lot. No. (See product label)

はじめに

『ファール アスペルギルス・オリゼ(Aspergillus oryzae)由来のリボヌクレアーゼT1(RNase T1)

は、G残基の後で加水分解を行うエンドリボヌクレアーゼです。切断は、グアニジンリボヌクレオチドの3'-リン酸基と隣接するヌクレオチドの5'-ヒドロキシルの間で発生します。初期生成物は2':3'環状リン酸ヌクレオシドであり、□□する3'-ヌクレオシドリン酸に加水分解されます。これは、膵臓RNaseとは異なり、特にグアニン部位を攻□して3'-GMPおよび3'-GMP末端

基を持つオリゴヌクレオチドを生成します。

用途 アスペルギルス・オリゼ(Aspergillus oryzae)由来のリボヌクレアーゼT1(RNase T1)

は、配列決定前に□性RNAを消化するために使用され、タンパク質の折りたたみ研究にも利用

されます。

別名 リボヌクレアーゼ T1; EC 3.1.27.3; グアニルリボヌクレアーゼ; アスペルギルス・オリゼリ

ボヌクレアーゼ; RNase N1; RNase N2; リボヌクレアーゼ N3; リボヌクレアーゼ U1; リボヌクレアーゼ F1; リボヌクレアーゼ Ch; リボヌクレアーゼ PP1; リボヌクレアーゼ SA; RNase F1; リボヌクレアーゼ C2; ビナーゼ; RNase Sa; グアニル特異的 RNase; RNase G; RNase T1; リボヌクレアーゼ グアニンヌクレオチド-2'-トランスフェラーゼ (環化); リボヌク

レアーゼ N3; リボヌクレアーゼ N1; 9026-12-4

製品情報

由来 アスペルギルス・オリゼー

形態 硫酸アンモニウム懸濁液; 2.8 M (NH4)2SO4 溶液中の懸濁液

EC番号 EC 3.1.27.3

*CAS*登□番号 9026-12-4

活性 300,000-600,000 ユニット/ mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、37°Cで15分間に Δ A260が1.0に相当する酸溶解性オリゴヌクレオチ

ドを1.0 mLの反□体積で生成します。基質:酵母RNA。

保管・発送情報

保存方法 −20°C